

様式第1号（第10条関係）

2025年度業務実績報告書

提出日 2026 年 1 月 16 日

1. 職名・氏名 准教授・森嶋 俊行

2. 学位 学位 博士、専門分野 学術、授与機関 東京大学大学院、授与年 2012

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 地誌学(2単位) 主たる配当年次：1年生
②内容・ねらい 日本と世界の様々な地域の事例を取り上げ、受講者が地理学的、地誌学的なものの見方に基づいて世界の様々な地域を観察し、特徴を把握し、説明できるようになるだけでなく、地域の未来について考え、議論できるようになることを目標とする。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ワークシートを頻繁に活用し、受講者の理解度を図りつつ授業の方法や方向性の修正を図った。
(2)その他の教育活動
内容 東京大学授業「地域未来社会フィールドワークⅡ」兼担。2月、福井県下にて東京大学学生のフィールドワークを引率し、研究指導する予定。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【0 本】
②学術論文（査読あり） 企業ヘリテージは多様な価値観が共存するフォーラムの場となりうるのか？ —2010 年代以降の足尾銅山関連ヘリテージに関する新しい動きから. 単著. 観光学評論 13-1. pp49-62. 地方自治体による中小企業政策の最近の状況—福井県坂井市中小企業振興計画を事例に. 共著. ふくい地域経済研究. 39-13. pp23-50.	【2 本】
③その他論文（査読なし）	【0 本】
④学会発表等	【0 件】
⑤その他の公表実績 「北陸新幹線の福井延伸に伴う地域経済・都市構造の変化と政策的対応に関する調査研究報告書(2)」福井県立大学地域経済研究所	【1 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
特記事項なし	
(3)特許等取得	
特記事項なし	
(4)学会活動等	
特記事項なし	

5. 地域・社会貢献活動

ふくい新試験研究炉利活用促進研究会総会に、地域経済研究所を代表し参加

6. 大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

地域政策学部（仮称）設置PT会議メンバー
地域政策学部開設準備会メンバー

(3)学内行事への参加

第2回地域経済研究フォーラム(7月21日)、第4回地域経済研究フォーラム(10月20日)にて講演

(4)その他、自発的活動など